

自 平成 29 年 4 月 1 日  
至 平成 30 年 3 月 31 日

## 平成 29 年度 事業報告書

公益財団法人 情報通信学会

## 平成29年度事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

### 概況

平成29年度の国際コミュニケーション・フォーラムは、春は国立京都国際会館において「ICTが導く次世代情報社会への方向性－Mapping ITC into Transformation for the Next Information Society－」と題し、国際学会International Telecommunication Society(ITS)との共催シンポジウムとして開催した。IoTにより収集したデータをAIによって分析し新たな富を創出するという事象に対し経済・社会的観点から議論・分析を行い、その特質を明らかにした。秋は「「ICT」×「AI」×「防災・減災」」と題し、早稲田大学においてシンポジウムを開催。業界にて第一線で活躍されている方々にご登壇いただき、AIが可能にしつつある新たな災害対策のフロンティアについて検討した。

また、学会大会では数多くの情報通信に関する個人研究発表が行われ、優秀な大学院生セッションの発表に対し、発表賞を贈った。この他、研究会活動、学会誌の発行を行い、学会のさらなる国際化を推進すべく、英文ブックシリーズの刊行に向けての準備も進めた。

平成29年度の財政は、国際学会との共催や委員会の開催等も含め、学会活動が活発であったことから、予算オーバーしている科目もある。次年度以降についても科目ごとの経費の見直しが必要とされる。

### I 学術大会、国際フォーラムの開催事業（公益目的事業1）

#### 1. 2017年度春季（第36回）及び2017年度秋季（第37回）情報通信学会大会

2017年度春季（第36回）情報通信学会大会を6月23日（金）、24日（土）の2日間、国立京都国際会館で開催した。個人研究発表大学院生セッション（アーリーバード）6発表、一般セッション23発表、ポスターセッション5発表、及び3研究会による研究会報告が行われた。また、個人研究発表大学院セッションにおいて優秀な発表2発表に対し発表賞を贈った。この大会は「情報通信月間」の参加行事である。参加者は173名。

また、2017年度秋季（第37回）情報通信学会大会を11月18日（土）、早稲田大学早稲田キャンパスで開催した。個人研究発表は大学院生セッション（アーリーバード）3発表、一般セッション14発表、ポスターセッション2発表、3研究会による研究会報告、及び総務省の特別報告として「『平成29年度版情報通信白書』を読み解く」が行われた。また、個人研究発表大学院セッションにおいて優秀な1発表に対し発表賞を贈った。参加者は128名。

\*プログラム等詳細は別紙1

#### 2. 2017年度春季（第36回）及び2017年度秋季（第37回）国際コミュニケーション・フォーラム

2017年度春季（第36回）国際コミュニケーション・フォーラムは、6月25日（日）、ITSと共催し国立京都国際会館で開催した。テーマは「ICTが導く次世代情報社会への方向性－Mapping ITC into Transformation for the Next Information Society－」とし、基調講演に総務省総務審議官の鈴木茂樹氏、株式会社NTTドコモ執行役員/法人ビジネス本部IoTビジネス部長の谷直樹氏を招き、講演いただいた。参加人数は国内外から161名。

2017年度秋季（第37回）国際コミュニケーション・フォーラムは、11月18日（土）に早稲田大学早稲田キャンパスで開催した。テーマは「「ICT」×「AI」×「防災・減災」」とし、基調講演に国立

研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター総括研究主幹の野田五十樹氏、一般財団法人情報法制研究所専務理事の江口清貴氏に講演いただいた。パネル・ディスカッションは基調講演に引き続き野田氏、江口氏にも登壇いただき、加えて静岡大学の高口鉄平氏、早稲田大学の中嶋聖雄氏、株式会社 KDDI 総合研究所の中村元氏にパネリストとして登壇いただき、モデレータを福岡大学の西澤雅道氏が務め、防災・減災に対して情報通信技術、とりわけ人工知能（AI）の貢献の可能性について議論を行った。公益財団法人 KDDI 財団、早稲田大学アジア太平洋研究センター、地区防災計画学会との共催。参加者は 110 名。

\*プログラム等詳細は別紙 2

### 3. 平成29年度関西大会

7月1日（土）・2日（日）に、関西大学梅田キャンパスにおいて平成29年度関西大会を開催した。「モバイル通信に関する国際シンポジウム"Are You Second Offline?" The Diversity of Post-Mobile Society」と題し、Boston UniversityのJames E. Katz氏に基調講演をいただいた。パネル・ディスカッションは基調講演に引き続きBoston UniversityのJames E. Katz氏、加えてEricson & Lund UniversityのMichael Bjorn氏、RMITのLarissa Hjorth氏、Washington DCのJason Farman氏にパネリストとして登壇いただき、関西大学の富田英典氏が司会を務めた。今日、多くの人びとが日常生活において常にネット上の情報を参照するようになった状況を"Second Offline"と命名し、このような状況でどのような現象が生じているかを論じた。関西大学社会学部メディア専攻との共催。また本大会は情報通信月間参加行事及び関西大学社会学部80周年事業の一環として開催された。参加人数は178名。

\*プログラム等詳細は別紙3

## II 研究会等実施、機関誌等刊行、研究顕彰事業（公益目的事業 2）

### 1. 研究会の開催

以下の14の研究会が活動を行い、年間計27回の研究会が開催された。

また、情報通信ワークショップを2回開催した。

<研究会>

- ① 情報経済研究会 （1回開催）
- ② 情報社会研究会 （1回開催）
- ③ 情報文化研究会 （1回開催）
- ④ マルチメディア研究会 （2回開催）
- ⑤ 情報行動研究会 （1回開催）
- ⑥ モバイルコミュニケーション研究会 （3回開催）
- ⑦ 情報知財研究会 （3回開催）
- ⑧ 情報通信経済法学会研究会 （1回開催）
- ⑨ コンテンツビジネス研究会 （1回開催）
- ⑩ インターネット政治研究会 （4回開催）
- ⑪ 災害情報と法と経済に関する研究会 （4回開催）
- ⑫ アジアのメディア研究会 （1回開催）
- ⑬ 地域メディアプラットフォーム研究会 （2回開催）

#### ⑭ AIネットワーク法・政策研究会 (2回開催)

<情報通信ワークショップ>

- ・情報通信ワークショップ (2回開催)

\*研究会および情報通信ワークショップの詳細は別紙4

### 2. 情報通信学会誌の発行

投稿論文、論説および寄稿論文と学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラムの講演録等を掲載した情報通信学会誌第35巻第1号～第4号(122号～125号)を発行した。なお、第1号・第2号(122号・123号)及び第3号・第4号(124号・125号)は合本による刊行。電子媒体は、毎号をJ-STAGE (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jsicr/-char/ja/>) において公開している。

発行部数は1100部、会員に送付されるほか、45団体が定期購読を行っている。

また、学会における国際化の取り組みの一環として、英文ブックシリーズについて検討を行い、英文ブックシリーズ編集委員会を設置した。平成30年度中の第1巻刊行を目指している。

\*情報通信学会誌各号の詳細は別紙5

### 3. 論文賞の授与

平成28年度発行の学会誌に掲載された論文の中から厳選な選考が編集委員会及び理事会で行われ、春季(第36回)学会大会総会において、平成28年度(第18回)情報通信学会論文賞が授与された。佳作2編。

\*平成28年度(第18回)情報通信学会論文賞の詳細は別紙6

## III 管理部門

平成29年度は、常勤職員1名、非常勤職員1名の2名体制で活発な学会事業活動を支えた。

収支においては、国際学会とのシンポジウム共催など、活発な学会活動により事業費が膨らんだが、他事業については節減に努めた。賛助会費、事業費の収益増もあり、収支状況は一時的に改善されたが、根本的な改善とは言えない。今後も更なる事業費の見直し、経費節減の努力を努める。また、個人会員数の増強にも引き続き取り組んでいく。

### 1. 会員の増減

平成29年4月1日現在、正会員(個人)は678名、正会員(団体)1団体、学生会員0名、特別会員66名、賛助会員39団体であった。平成29年度内に正会員(個人)は24名の入会があったものの、34名の退会があり、正会員(個人)数は平成30年3月31日現在、668名となった。また学生会員、特別会員を合わせた個人会員数は746名である。賛助会員は本年度は6団体が入会し、45団体、133口となった。引き続き賛助会員及び大学院生を含む個人会員の増強に向けて、役員を中心に会員入会の働きかけを行う。

\*会員の増減状況及び会員種別構成については附属明細書に記載する。

### 2. 収支状況

平成29年度正味財産増減計算書の経常収益計は24,102,413円、経常費用計は23,575,402円となり、経常収益のうち受取会費は18,665,200円、事業収益は1,233,000円であった。経常費用においては事業費が

17,739,467円、管理費が5,835,935円であった。正味財産の期末残高は前年度より1,135,711円増の95,308,565円となった。国際学会との共催負担金については、指定正味財産を一般正味財産に振り替え、これに充てた。また賛助会員及び事業費の収益増により平成29年度は若干の黒字となったが、これについては次年度に取り組む英文ブックシリーズの発行に充てることとする。

### 3. 評議員会及び理事会の開催

平成29年度は評議員会を1回、理事会を7回、常任理事会を3回開催した。また、学会収支状況について常任理事会及び理事会において検討が行われ、事業費の見直し、会員の増強への取り組みが話し合われた。

\*評議員会、理事会、常任理事会の詳細は別紙7

### 4. 委員会等の開催

事業企画委員会、研究企画委員会、編集委員会、関西センター委員会がそれぞれ別紙のとおり委員会を開催した。また、委員の負担を軽くするため、一部委員会のメーリングリストによる検討、書面会議による議決を行った。

- ・事業企画委員会 (1回開催)
- ・研究企画委員会 (5回開催)
- ・編集委員会 (6回開催)
- ・関西センター委員会 (2回開催)
- ・総務プロジェクト (3回開催)

\*委員会等の詳細は別紙8

2017 年度春季（第 36 回）情報通信学会大会

開催日程 平成 29 年 6 月 23 日（金）・24 日（土）  
場 所 国立京都国際会館  
（京都市左京区岩倉大鷲町 422 番地）  
主 催 公益財団法人情報通信学会  
協 賛 情報通信月間推進協議会 \*情報通信月間参加行事  
学会大会開催支援 公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー

<プログラム>

6 月 23 日（金）

総会  
懇親会

6 月 24 日（土）

個人研究発表（大学院生の部）  
個人研究発表（一般の部）  
研究会報告  
ポスターセッション

<個人研究発表>

大学院生の部（アーリーバード）

1. 中国インターネット市場におけるインターネットライブ・サービス発展に関する研究—「AcFun」を事例として 劉佳（台湾政治大学大学院生）、菅谷実（白鷗大学）
2. 中国人の韓国観光と対韓認識との関係について—「韓国旅行記ブログ」を中心に— 朴香花（名古屋大学大学院生）
3. 音を電気化する装置の研究開発史—マイクロフォン・真空管・ラウドスピーカーに着目して— 福永健一（関西大学大学院生）
4. ウェブデューデリジェンスにおける評価方法の提案 小野寺正浩（日本大学大学院生）、鈴木邦成（日本大学）
5. インターネット上で他人の権利を侵害する発言があった場合のプロバイダの責任に関する日中比較 張晶（岡山大学大学院生）
6. 民放地方テレビ局による「住民アイデンティティ」の後天的形成 橋本純次（東北大学大学院生）

一般の部

1. 情報時代における中国政府の情報政策 沈霄虹（上智大学短期大学部）
2. 有体物の法と情報法の基本概念の比較—主体・客体・権利あるいは関係性— 林紘一郎（情報セキュリティ大学院大学）

3. EUにおける「非」個人データへのアクセスに関する政策動向及び経済分析 井上淳（慶應義塾大学）
4. 政権交代が情報通信政策に及ぼす影響—米国と韓国の事例— 山條朋子（KDDI 総合研究所）、三澤かおり（マルチメディア振興センター）
5. 議会における情報通信技術の利用 本田正美（東京工業大学）
6. 米 IT 法に学ぶイノベーション促進策 城所岩生（国際大学 GLOCOM）
7. 位置情報のゲーム的利用と地域振興の可能性について —アクティブプレイヤーへのアンケート結果からの考察— 吉田達（東京経済大学）
8. 「暇」ツイートテキストマイニングによるサイレントカスタマー分析 大槻明（日本大学）、町田悠貴（日本大学学部生）
9. 2016 年参議院議員選挙期間中の候補者における Twitter の利用傾向—2014 年衆院選の結果との比較から— 吉見憲二（佛教大学）
10. 口コミ投稿行動の実証分析 山口真一（国際大学 GLOCOM）、彌永浩太郎（慶應義塾大学大学院生）、坂口洋英（慶應義塾大学大学院生）
11. 中国におけるデータジャーナリズム—人民日報と南方都市報を例として— 賈曦（東京国際大学）
12. 英米独における放送のネット同時配信利用状況 木村幹夫（日本民間放送連盟研究所）
13. デジタルメディア時代の公共メディア化と地域密着化に関する—考察—英国 BBC、カナダ CBC、オーストラリア ABC の事例より— 藍澤志津（マルチメディア振興センター）、米谷南海（マルチメディア振興センター）
14. 映像表示方法が身体に与える影響—基礎実験の結果検討— 田畑恒平（京都産業大学）、伊藤敏（岐阜聖徳学園大学）
15. 制度的契約としての NHK 放送受信契約 磯本典章（成蹊大学）
16. 「ポスト真実」「ポスト信頼」時代に人工知能がメディアに果たす貢献 植田康孝（江戸川大学）
17. 金融事業者における情報の安全管理と行政手法 斉藤邦史（慶應義塾大学）
18. 国際的な連携を前提とした情報共有プラットフォームにおけるプライバシー保護の検討 加藤尚徳（KDDI 総合研究所）、高崎晴夫（KDDI 総合研究所）、村上陽亮（KDDI 総合研究所）
19. 経済学的視点他からのデータ取引市場可能性についての試論 高崎晴夫（KDDI 総合研究所）、寺田真一郎（KDDI 総合研究所）
20. 地域資源の情報発信とコンテンツツウリズムⅣ—名古屋市「project758」の事例— 伊藤昭浩（名古屋学院大学）、山口翔（名古屋学院大学）
21. 中小零細事業者によるワン・トゥ・メニー・マーケティング—ゆるく継続的な関係構築による LTV の最大化— 田島大輝（株式会社 YBC）
22. 東京都における児童・生徒へのアンケートパネル調査からみえる、ネットリテラシー教育のネットリスクの軽減効果の示唆—東京都における児童・生徒へのアンケート調査より— 田代光輝（多摩大学）、小松正（多摩大学）、山内康英（多摩大学）、江口清貴（情報法制研究所）、浅子秀樹（LINE 株式会社）
23. 東京都市部在住高齢者の情報行動と社会参加 中村広幸（芝浦工業大学）、遠藤美穂（新潟市）

<ポスターセッション>

1. 地域観光とホスピタリティ：町歩きボランティア活動の記録とモバイルメディア利用 富田英典（関西大学）
2. 超高齢社会に向けた高齢者福祉領域のオープンデータ整備状況調査 庄司昌彦（国際大学 GLOCOM）、杉内寛幸（国学院大学）、岡田誠（国際大学 GLOCOM）
3. ミクロネシア連邦における海底光ファイバーケーブルの課題 山下東子（大東文化大学）
4. 米国における競業避止契約の活用：退職者からの営業秘密漏洩の防止 瀧澤和子（早稲田大学 WBS 研究センター）
5. 熊本地震における情報行動—ネット上の流言とモバイル・コミュニケーションを中心に 齋藤さやか（東京大学）、関谷直也（東京大学）

<研究会報告>

1. 情報社会研究会  
「震災アーカイブへの VR/S3D の応用」  
報告者：中村広幸（芝浦工業大学）
2. 情報行動研究会  
「ネット利用と排外主義に関する国際比較分析——「日本人の情報行動」プロジェクトの調査結果から」  
報告者：辻大介（大阪大学）  
討論者：高史明（東京大学）、森尾博昭（関西大学）  
司会者：橋元良明（東京大学）
3. コンテンツビジネス研究会  
『コンテンツビジネスの経営戦略』出版記念ワークショップ「コンテンツビジネスの曲がり角」  
ゲストスピーカー・問題提起者：境治（メディアコンサルタント）  
ファシリテーター：大場吾郎（佛教大学）

<アーリーバード発表賞>

- ・「中国人の韓国観光と対韓認識との関係について—「韓国旅行記ブログ」を中心に—」 朴香花（名古屋大学大学院生）
- ・「音を電気化する装置の研究開発史—マイクロフォン・真空管・ラウドスピーカーに着目して—」 福永健一（関西大学大学院生）

## 2017年度秋季（第37回）情報通信学会大会

開催日程 平成29年11月18日（土）  
場 所 早稲田大学 早稲田キャンパス  
（東京都新宿区西早稲田1-21-1）  
主 催 公益財団法人情報通信学会  
共 催 早稲田大学アジア太平洋研究センター

### <個人研究発表>

#### 大学院生の部（アーリーバード）

1. 中国人の国際観光とナショナルアイデンティティとの関係について—「日米韓旅行記ブログ」を中心に— 朴香花（名古屋大学大学院生）
2. Willingness-to-pay for FTTH for a quality of experience of OTT media streaming services: A case of Thailand Tatcha SUDTASAN（早稲田大学大学院生）
3. 電力システムの混雑料金設定による社会厚生の上昇— ICTによる再生可能エネルギーの差別化 — 谷口晋一（早稲田大学大学院生）

#### 一般の部

1. EUにおけるフェイク・ニュースに関するプラットフォーム規制の動向 井上淳（慶應義塾大学）
2. 情報通信システムにおける情報内容取扱い基本規範に関するオントロジー的考察 森田英夫
3. ワンセグ放送対応携帯電話所有者のNHK放送受信契約締結義務—水戸地裁平成29年5月25日判決の検討— 磯本典章（成蹊大学）
4. 固定電話網（PSTN）からIP網への移行に当たりの課題 福家秀紀（駒澤大学）
5. 次世代（第5世代）移動通信の産業組織——自然独占・協調寡占問題 鬼木甫（情報経済研究所）
6. ネットは社会を分断するか？—Polarizationについての初歩的調査— 田中辰雄（慶應義塾大学）
7. 中国におけるデータジャーナリズム—南方都市報と人民日報の両会報道を例として 賈曦（東京国際大学）
8. Perceived Image of the News Media in Simulcast Television - A Study Case of the 2016 Kumamoto Earthquake Cheng, John William（早稲田大学）
9. 地域放送メディアに対する住民の主観的評価計測に関する研究—震災復興期を対象として— 三友仁志（早稲田大学）、大塚時雄（秀明大学）
10. ネット依存対策としてのスマホの適切利用をナッジする飼育アプリの効果検証に関する研究 齋藤長行（慶應義塾大学）
11. 日本の電子政府政策とデジタル・ガバメント 本田正美（東京工業大学）
12. アメリカにおけるICTを活用した投票環境の向上策—オンライン有権者登録制度の普及 清原聖子（明治大学）
13. 米国におけるCUI（Controlled Unclassified Information）の概念—「情報の適切な管理」を考えるための予備的考察— 林紘一郎（情報セキュリティ大学院大学）

14. トランプ政権の FCC 連邦通信委員会の 2017 の動向と展開 James Miller (米国連邦通信委員会/アメリカン大学大学院)

<ポスターセッション>

1. 在日中国人留学生のソーシャルメディア利用行動と異文化適応との関連—日本語学校中国人留学生を対象に— 劉夷 (東京経済大学大学院生)
2. 農業オープンデータ等を活用した「食・農情報流通プラットフォーム Nober」の構想 庄司昌彦 (国際大学 GLOCOM)

<研究会報告>

1. モバイルコミュニケーション研究会

「モバイル・メディアにおける参加型デザインの可能性の検討」 報告者：岡田朋之 (関西大学)  
「教育におけるエマージング・メディア (Emerging Media) の影響」上松恵理子 (武蔵野学院大学)  
司会者：金 キョンファ (神田外語大学)

2. 地域メディアプラットフォーム研究会

「日本のオンラインニュースメディアの展望」  
報告者：福原伸治 (フジテレビジョン)、堀潤 (ジャーナリスト、キャスター/NPO 法人「8bitNews」)  
討論者：脇浜紀子 (京都産業大学)  
司会者：菅谷実 (白鷗大学)

3. AI ネットワーク法・政策研究会

「AI ネットワーク法・政策—序論的考察」 報告者：福田雅樹 (大阪大学)  
「AI ネットワーク化と競争」 報告者：林秀弥 (名古屋大学)  
「AI ネットワーク化に関するシナリオ分析と原則・指針」 報告者：成原慧 (東京大学)  
司会者：福田雅樹 (大阪大学)

<特別報告>

1. 「平成 29 年度版 情報通信白書」を読み解く

報告者：品川健一 (総務省)、入口千紘 (総務省)  
司会者：納富史仁 (総務省)

<アーリーバード発表賞>

- ・電力システムの混雑料金設定による社会厚生の上昇— ICT による再生可能エネルギーの差別化 —  
谷口晋一 (早稲田大学大学院生)

別紙 2

2017年度春季（第36回）国際コミュニケーション・フォーラム

開催日程 平成 29 年 6 月 25 日（日）  
場 所 国立京都国際会館 Room D  
（京都市左京区岩倉大鷲町 422 番地）  
テ ー マ 「ICT が導く次世代情報社会への方向性  
－Mapping ITC into Transformation for the Next Information Society－」  
主 催 公益財団法人情報通信学会  
共 催 国際通信学会アジア太平洋国際会議（京都大会）（略称：ITS Kyoto）

<プログラム>

基調講演 1 「Japan's New ICT Policies in the IoT/AI Age」  
鈴木茂樹（総務省 総務審議官）  
基調講演 2 「Make the world a smarter place by docomo's IoT and +d」  
谷直樹（株式会社NTTドコモ 執行役員/法人ビジネス本部IoTビジネス部長）

<概 要>

本分野における世界最高峰の学会の一つである ITS と協力し、東アジアにおける情報通信の新たなパラダイムを構築すべく、シンポジウムを共催する。具体的には、IoT により収集したデータを AI によって分析し新たな富を創出するという事象に対し経済・社会的観点から議論・分析を行い、その特質を明らかにした。

## 2017年度秋季（第37回）国際コミュニケーション・フォーラム

開催日程	平成29年11月18日（土）15:00～18:00
場 所	早稲田大学 早稲田キャンパス 19号館 711教室 （東京都新宿区西早稲田1-21-1）
テ ー マ	「ICT」×「AI」×「防災・減災」
主 催	公益財団法人情報通信学会
共 催	公益財団法人 KDDI 財団、早稲田大学アジア太平洋研究センター、地区防災計画学会
後 援	総務省、日本電信電話株式会社、東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、富士通株式会社、日本電気株式会社、株式会社日立製作所、株式会社東芝、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、NHK、公益財団法人電気通信普及財団、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本新聞協会、一般社団法人電波産業会、一般財団法人情報法制研究所、一般財団法人テレコムエンジニアリングセンター、一般財団法人電気通信端末機器審査協会、一般財団法人マルチメディア振興センター

### <プログラム>

会長挨拶 川崎賢一（情報通信学会 会長／駒澤大学メディア・スタディーズ学部 教授）

基調講演1 「減災のための AI / ICT」

野田五十樹

（国立研究開発法人産業技術総合研究所 人工知能研究センター 総括研究主幹）

基調講演2 「熊本地震の経験」

江口清貴（一般財団法人情報法制研究所 専務理事）

### パネル・ディスカッション

パネリスト 江口清貴（一般財団法人情報法制研究所 専務理事）

高口鉄平（静岡大学大学院情報学領域 准教授）

中嶋聖雄（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 准教授）

中村 元（株式会社 KDDI 総合研究所 取締役執行役員副所長）

野田五十樹

（国立研究開発法人産業技術総合研究所 人工知能研究センター 総括研究主幹）

モデレータ 西澤雅道（福岡大学法学部 准教授）

実行委員長挨拶 三友仁志（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 教授）

### <概 要>

各種の災害が発生しやすい自然的条件を有するとされるわが国において、大規模な被害の発生をどのようにして防止するのか（「防災」）、さらに発生が避けられない被害の水準をどのように低減させるのか（「減災」）は、政策担当者のみならず住民ひとりひとりにとっても重要な課題である。

本フォーラムでは、こうした課題に対する情報通信技術、とりわけ人工知能（AI）の貢献の可能性について、最先端のAI研究者と、AIを実際に活用してサービス展開を行っている事業者を交えて議論を行い、AIが可能にしつつある新たな災害対策のフロンティアについてフォーラム参加者とともに考察した。

平成29年度関西大会

開催日程	平成 29 年 7 月 1 日（土）・2 日（日）
場 所	関西大学梅田キャンパス （大阪市北区鶴野町 1）
テ ー マ	"Are You Second Offline?" The Diversity of Post-Mobile Society
主 催	公益財団法人情報通信学会
共 催	学校法人関西大学社会学部メディア専攻 * 関西大学社会学部 80 周年事業
後 援	特定非営利活動法人モバイル学会、一般社団法人社会情報学会
協 賛	情報通信月間推進協議会 * 情報通信月間参加行事

<プログラム>

・7月1日（土）

1. 基調講演：James E. Katz (Boston University)

2. パネル・ディスカッション：「セカンドオフラインとは何か？ーポスト・モバイル社会の展望」

パネリスト： James E. Katz (Boston University)、 Jason Farman (University of Maryland)、 Larissa Hjorth (RMIT)、 Michael Bjorn (Ericsson & Lund University)、 藤本憲一（武庫川女子大学）、伊藤昌亮（成蹊大学）、松田美佐（中央大学）

司会者： 富田英典（関西大学）

・7月2日（日）

分科会（1）テーマ：モバイルメディアで変容する社会

報告者：Michael Bjorn (Ericsson & Lund University)、木暮祐一（青森公立大学）

討論者：伊藤耕太（博報堂）、吉田 達（東京経済大学） 司会者：岡田朋之（関西大学）

分科会（2）テーマ：文化としてのモバイルメディア

報告者：Larissa Hjorth (RMIT)、藤本憲一（武庫川女子大学）

討論者：松田美佐（中央大学）、上松恵理子（武蔵野学院大学） 司会者：金 暲和（神田外語大学）

分科会（3）テーマ：ソーシャルメディアとモバイル社会

報告者：Jason Farman(University of Maryland)、天笠邦一（昭和女子大学）

討論者：羽瀨一代（弘前大学）、松下慶太（実践女子大学） 司会者：小笠原盛浩（関西大学）

<概 要>

iPhone の発売を契機にフィーチャーフォンからスマートフォンへの移行が始まり、さらに Google Glass などの登場により、モバイルメディアの機能と利用方法が多様化した中で、今日、多くの人びとが日常生活（リアル／オフライン）において常にネット上の情報（バーチャル）を参照するようになった。このような状況を 'Second Offline' と命名した。このような状況のなかでどのような現象が生じているのかを本シンポジウムで明らかにし、モバイルメディア研究の第一人者である James E. Katz を中心に 3 名の研究者を海外から迎え、日本の研究者とともに多角的・専門的に議論をおこなった。

平成29年度 研究会・情報通信ワークショップ開催状況

<研究会>

- ① **情報経済研究会** (主査：内山隆 幹事：湧口清隆) 1回開催  
・5月30日(火) 18:30~19:30 青山学院大学アスタジオ B1ホール  
「地上波放送のインターネット同時配信の技術的な仕組みとコストについて」発表者：福田 一則  
(株式会社インターネットイニシアティブ)
- ② **情報社会研究会** (主査：中村宏行 幹事：井村保、柴田邦臣) 1回開催  
・6月24日(土) 16:00~17:30 国立京都国際会館 Room F  
「震災アーカイブとVRへの応用」発表者：中村広幸(芝浦工業大学)
- ③ **情報文化研究会** (主査：関西センター) 1回開催  
・10月29日(土) 15:00~17:00 MEDIA SHOP  
『『プロトコル』書評会』コメンテーター：伊藤守(早稲田大学)、大山真司(立命館大学)、北野圭介(立命館大学)、清水知子(筑波大学)、水嶋一憲(大阪産業大学)、毛利嘉孝(東京藝術大学) 進行：北村順生(立命館大学)  
ポストメディア研究会、動態論的メディア研究会共催
- ④ **マルチメディア研究会** (主査：関西センター) 2回開催  
・9月24日(日) 14:30~17:00 関西大学梅田キャンパス 705教室  
「Smartphones and Incidental News Consumption」発表者：Mikko Villi(ユヴァスキュラ大学[フィンランド]) 討論者：小笠原盛浩(関西大学) 司会：岡田朋之(関西大学)  
モバイルコミュニケーション研究会合同開催  
・2月23日(金) 18:00~19:30 関西大学梅田キャンパス 701教室  
「変化に対応するためのNetflixの企業カルチャー」発表者：鴨下豊(Netflix株式会社)
- ⑤ **情報行動研究会** (主査：橋元良明 幹事：松田美佐) 1回開催  
・6月24日(土) 16:00~17:30 国立京都国際会館 Room G  
「ネット利用と排外主義に関する国際比較分析—『日本人の情報行動』プロジェクトの調査結果から」発表者：辻大介(大阪大学)、高史明(東京大学)、森尾博昭(関西大学) 司会：橋元良明(東京大学)
- ⑥ **モバイルコミュニケーション研究会** (主査：藤本憲一 幹事：富田英典・岡田朋之) 3回開催  
・7月1日(土)~2日(日) 関西大学梅田キャンパス  
「国際シンポジウム」: "Are You Second Offline?": The Diversity of Post-Mobile Society"  
基調講演：James E. Katz (Boston University)  
パネル・ディスカッション：Michael Bjorn (Ericson & Lund University)、Larissa Hjorth (RMIT)、Jason Farman (Washington DC)、藤本憲一(武庫川女子大学教授)、松田美佐(中央大学教授)、伊藤昌亮(成蹊大学教授)  
分科会(1)「モバイルメディアで変容する社会」発表者：Michael Bjorn (Ericsson inc. & Lund University)、木暮祐一(青森公立大准教授) 討論者：伊藤耕太(博報堂)、吉田 達(東京経済大学) 司会：岡田朋之(関西大学)

分科会（2）「文化としてのモバイルメディア」発表者：Larissa Hjorth (RMIT)、藤本憲一（武庫川女子大学） 討論者：松田美佐（中央大学）、上松恵理子（武蔵野学院大学） 司会：金暲和（神田外語大学）

分科会（3）「ソーシャルメディアとモバイル社会」発表者：Jason Farman (University Maryland)、天笠邦一（昭和女子大学） 討論者：羽渕一代（弘前大学）、松下慶太（実践女子大学） 司会：小笠原盛浩（関西大学）

総括討論 発表者：James E. Katz (Boston University)、富田英典（関西大学） 司会：松下慶太（実践女子大学）

関西大会と合同開催

・9月24日（日）14：30～17：00 関西大学梅田キャンパス 705 教室

「Smartphones and Incidental News Consumption」発表者：Mikko Villi（ユヴァスキュラ大学 [フィンランド]） 討論者：小笠原盛浩（関西大学） 司会：岡田朋之（関西大学）

マルチメディア研究会合同開催

・11月18日（土）13：00～14：45 早稲田大学早稲田キャンパス 19号館 314 教室

「モバイル・メディアにおける参加型デザインの可能性の検討」発表者：岡田朋之（関西大学）

「教育におけるエマージング・メディア（Emerging Media）の影響」発表者：上松恵理子（武蔵野学院大学） 司会：金暲和（神田外語大学）

⑦ 情報知財研究会（主査：鈴木雄一 幹事：玉井克哉）3回開催

・5月31日（水）18：30～20：30 東京大学先端科学技術研究センター知的財産・社会技術研究室丸の内分室

「ウェブページ上の著作物盗用をめぐる著作権法上の諸問題」発表者：鈴木雄一（防衛大学）

・10月25日（水）14：00～18：00 東京大学情報学環・福武ホール

知財立国研究会共催シンポジウム「元知財部長会議 リターンズ ～企業知財部の本音をさらに語る～」モデレーター：玉井克哉（東京大学）スピーカー：足立勝（元 日本コカ・コーラ株式会社 ディレクター&シニアリーガルカウンセラー）、荻野誠（元 株式会社日立国際電気 知的財産権本部本部長）、奥村洋一（元 武田薬品工業株式会社 知的財産グローバルIPヘッド）、守屋文彦（元 ソニー株式会社 VP 知的財産センター長）、荒井寿光（元 特許庁長官）、三村量一（元 知的財産高等裁判所 判事）

・3月30日（金）18：00～20：00 東京大学先端科学技術研究センター知的財産・社会技術研究室丸の内分室

「調査報道と公文書管理」発表者：塩川泰子（マーベリック法律事務所）

⑧ 情報通信経済法学研究会（主査：林秀弥 幹事：福田雅樹）1回開催

・3月23日（金）14：00～17：00 大阪大学東京オフィス

「AIネットワーク化をめぐる法と政策の動向」

報告1「AIネットワーク化をめぐる法と政策に関する問題の所在及び議論の鳥瞰」発表者：福田雅樹（大阪大学） 報告2「AIに関し検討が進んでいないと考えられるポイントーAIに関する国内・海外の動向について実地で伺った事項をベースに」発表者：三部裕幸（渥美坂井法律事務所）

報告3「AI利用場面についての法的責任と、医療・金融分野での議論」発表者：落合孝文（渥美坂井法律事務所） 報告4「IEEEにおけるAIのEthically Aligned Design、標準化

等に関する検討の動向と展望」発表者：江川尚志（NEC）報告5「自動運転に関する経済法的留意点」発表者：林秀弥（名古屋大学） パネル・ディスカッション「AIネットワーク化をめぐる法と政策の動向から得られる示唆」パネリスト：林秀弥、三部裕幸、落合孝文、江川尚志  
モデレータ：福田雅樹

AIネットワーク法・政策研究会合同開催

- ⑨ **コンテンツビジネス研究会**（主査：大場吾郎 幹事：田村和人、浅利光昭） 1回開催  
・6月24日（土）16：00～17：30 国立京都国際会館 Room H  
『コンテンツビジネスの戦略論』出版記念ワークショップ「コンテンツビジネスの曲がり角」ゲストスピーカー・問題提起者：境治（メディアコンサルタント） ファシリテーター：大場吾郎（佛教大学）
- ⑩ **インターネット政治研究会**（主査：清原聖子 幹事：前嶋和弘、李洪千） 4回開催  
・4月25日（火）18：00～19：40 明治大学駿河台キャンパスグローバルフロント1階多目的室  
『18歳選挙権』とインターネット ヤフーの取り組み」発表者：前田明彦（Yahoo!ニュース）  
討論者：前嶋和弘（上智大学）、李洪千（東京都市大学） 司会：清原聖子（明治大学）  
・9月29日（金）18：00～19：30 明治大学駿河台キャンパスリバティタワー1124教室  
「日本のネット選挙運動とメディア環境」発表者：小笠原盛浩（関西大学） 討論者：前田明彦（Yahoo!ニュース）  
・1月23日（火）18：00～19：40 明治大学駿河台キャンパスリバティタワー1076教室  
「受信者の視点から考えた「フェイクニュース」～その傾向と対策」発表者：奥山晶二郎氏（朝日新聞） 司会：清原聖子（明治大学）  
・3月10日（土）13：30～17：00 明治大学駿河台キャンパスグローバルフロント1階多目的室  
共催シンポジウム「インターネット選挙運動に関する国際シンポジウム-日米韓台におけるデジタル民主主義-」基調講演：ダイアナ・オーエン（ジョージタウン大学准教授）パネリスト：前嶋和弘（上智大学）、李洪千（東京都市大学）、小笠原盛浩（関西大学）、小林哲郎（香港城市大学）、陳栢宇（新潟県立大学） 討論者：竹下敏郎（明治大学） 司会：清原聖子（明治大学）
- ⑪ **災害情報と法と経済に関する研究会**（主査：林秀弥 幹事：井上禎男、西澤雅道） 4回開催  
・4月8日（土）13：00～16：30 福岡大学文系センター棟第4会議室  
「熊本地震から1年を振り返って」発表者：重松幹二（福岡大学）、室崎益輝（神戸大学）、矢守克也（京都大学）、島谷幸宏（九州大学）、加藤孝明（東京大学）、磯打千雅子（香川大学）、林秀弥（名古屋大学）、西澤雅道（福岡大学）、尾方義人（九州大学）、渡辺浩（福岡大学）  
・11月23日（木）13：00～16：30 福岡大学文系センター棟第4会議室  
「九州北部豪雨の教訓と地域防災力」発表者：重松幹二（福岡大学）、室崎益輝（神戸大学）、矢守克也（京都大学）、尾方義人（九州大学）、林秀弥（名古屋大学）、井上禎男（琉球大学）、田中健一（兵庫県庁）、金思穎（日本学術振興会）、西澤雅道（福岡大学）、渡辺浩（福岡大学）  
・3月3日（日）10：00～18：30 高知県立大学永国寺キャンパス教育研究棟  
「高知の地区防災計画と地域防災力」発表者：室崎益輝（神戸大学・地区防災計画学）、矢守克也（京都大学）、加藤孝明（東京大学）、磯打千雅子（香川大学）、西澤雅道（福岡大学） 徳廣誠司（黒潮

町)、山中晶一(高知市)、鍵屋一(跡見学園女子大学)

・3月6日(火)14:00~17:30 九州大学大橋キャンパス 511 教室・512 教室

九州大学応用生理人類学研究センター レジリエンスデザイン研究特別講演会「地区防災とレジリエンス」 「生理人類学とレジリエンス」発表者:前田享史(九州大学)、基調講演「地区防災とレジリエンス」発表者:西澤雅道(福岡大学)、金思穎(日本学術振興会)、「災害とレジリエンスアシストサービス」発表者:尾方義人(九州大学)、「社会実装とレジリエンスデザイン研究について」発表者:藤智亮(九州大学)

⑫ **アジアのメディア研究会**(主査:西岡洋子 幹事:金美林、井上淳) 1回開催

・3月9日(金)17:30~19:00 韓国コンテンツ振興院 日本ビジネスセンター 6階

「冬のソナタから TWICE まで、日本国内における韓流ビジネスの変遷 ~第3韓流(新・韓流)の未来とは?~」発表者:黄仙惠(SR&Produce 株式会社)

韓国コンテンツ振興院共催

⑬ **地域メディアプラットフォーム研究会**(主査:脇浜紀子 幹事:米谷南海) 2回開催

・11月18日(金)13:30~14:45 早稲田大学早稲田キャンパス 19号館 315 教室

「日本のオンラインニュースメディアの展望:テレビ報道はどうなっていくのか」

発表者:福原伸治(フジテレビジョン)、堀潤(ジャーナリスト)、脇浜紀子(京都産業大学) 司会:菅谷実(白鷗大学)

・2月26日(火)17:30~18:50 慶應義塾大学三田キャンパス 南館 D2051 会議室

「もはやマスメディアは存在しない!? 日本の未来に行く小国のメディアプラットフォーム事情とは」発表者:吉田和充(ニューロマジックアムステルダム) 司会:脇浜紀子(京都産業大学)

⑭ **AI ネットワーク法・政策研究会**(主査:福田直紀 幹事:成原慧) 2回開催

・11月18日(金)13:30~14:45 早稲田大学早稲田キャンパス 19号館 310 教室

「AI ネットワーク化をめぐる法と政策」報告1「AI ネットワーク法・政策一序論的考察」発表者:福田雅樹(大阪大学)、報告2「AI ネットワーク化と競争」発表者:林秀弥(名古屋大学)、報告3「AI ネットワーク化に関するシナリオ分析と原則・指針」発表者:成原慧(東京大学) 司会:福田雅樹(大阪大学)

・3月23日(金)14:00~17:00 大阪大学東京オフィス

「AI ネットワーク化をめぐる法と政策の動向」

報告1「AI ネットワーク化をめぐる法と政策に関する問題の所在及び議論の鳥瞰」発表者:福田雅樹(大阪大学) 報告2「AI に関し検討が進んでいないと考えられるポイントーAI に関する国内・海外の動向について実地で伺った事項をベースに」発表者:三部裕幸(渥美坂井法律事務所)

報告3「AI 利用場面についての法的責任と、医療・金融分野での議論」発表者:落合孝文(渥美坂井法律事務所) 報告4「IEEE におけるAI の Ethically Aligned Design、標準化等に関する検討の動向と展望」発表者:江川尚志(NEC) 報告5「自動運転に関する経済法的留意点」発表者:林秀弥(名古屋大学)

パネル・ディスカッション「AI ネットワーク化をめぐる法と政策の動向から得られる示唆」パネリスト:林秀弥、三部裕幸、落合孝文、江川尚志  
モデレータ:福田雅樹

AI ネットワーク法・政策研究会合同開催

<情報通信ワークショップ>

## 第1回情報通信ワークショップ

「改正個人情報保護法の施行で情報通信分野はどう変わる」

開催日程 2017年5月26日(金) 18:00~19:35

場 所 青山学院大学アスタジオ B1ホール(東京都渋谷区神宮前5-47)

主 催 公益財団法人情報通信学会

プログラム

会長挨拶 三友仁志(会長/早稲田大学国際学術院大学院アジア太平洋研究科教授)

ショートプレゼンテーション

宍戸常寿(東京大学大学院法学政治学研究科教授)

真野浩(EverySense Inc.CEO)

ディスカッション・質疑応答

司会 高崎晴夫(KDDI 総合研究所フューチャーデザイン1部門 主席研究員)

### 概 要

本年5月30日をもって全面施行となる改正個人情報保護法について、その改正過程に専門有識者として深く関与されてきた東京大学大学院法学政治学研究科宍戸教授より改正法のポイントをご紹介いただき、IoTのビジネスモデルでパーソナルデータの有効活用ビジネスに果敢にチャレンジをされているアプリセンス社の真野社長から同社の取り組みを紹介いただくとともに、改正法への期待と課題についてパネル討論を行った。

## 第2回情報通信ワークショップ

「フェイクニュースの諸課題」

開催日程 2018年1月19日(金) 18:00~19:10

場 所 一般社団法人電波産業会 会議室(東京都千代田区霞が関1-4-1)

主 催 公益財団法人情報通信学会

協 力 一般社団法人電波産業会

プログラム

会長挨拶 川崎賢一(会長/駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部教授)

講 演 平和博(朝日新聞IT専門記者(デジタルウォッチャー))

質疑応答

### 概 要

2016年の米大統領選などをきっかけに、世界的な注目を集めた「フェイクニュース」。ソーシャルメディア時代の到来とともに、急速な広がりを見せたこの現象は、1年以上が経過してもなお、流行語として高い関心呼び続けている。本講演では、「フェイクニュース」の構造、発信に関わるプレイヤーやその動機などについて俯瞰しつつ、問題点を整理。解決に向けた、メディア、IT事業者などの役割や取り組みの動向を見た。

情報通信学会誌（第35巻第1号～第35巻第4号）

情報通信学会誌第35巻第1号 通算第122号（第2号と合本）

掲載論文

- ・「電気通信における「コモンキャリア」の観念の有用性  
ー通信管理主体の表現の自由の享有可能性を踏まえた批判的検討ー」 海野敦史

掲載寄稿論文

- ・「Jアラート等の災害時の情報通信と避難」 西澤雅道、金思穎、筒井智士

情報通信学会誌第35巻第2号 通算第123号（平成29年9月号）

特集 2017年度春季（第34回）情報通信学会大会／国際コミュニケーション・フォーラム

掲載論文

- ・「スマートフォンゲーム市場の成熟化による製品普及過程の変化」 勝又壮太郎、一小路武安、リュボスル

掲載論説

- ・「ASEANでの共同研究の動向」 池末成明
- ・「中山間地域の住民による生活情報へのアクセスについての研究ーデジタル・インクルージョンの観点からー」 黒山良洋

掲載寄稿論文

- ・「AIネットワーク化の展望と課題」 福田雅樹

共催シンポジウム

「震災関連シンポジウム『熊本地震において通信とメディアが果たした役割』」

情報通信学会誌第35巻第3号 通算第124号（第4号と合本）

特集 2017年度春季（第34回）情報通信学会大会／国際コミュニケーション・フォーラム

掲載論文

- ・「特定電子メール法29条と憲法上の通信の秘密」 海野敦史
- ・「人工知能に対する法人格の付与」 斉藤邦史
- ・「コンテンツ産業におけるフリー型ビジネスモデルの有効性ー音楽産業の実証分析ー」 山口真一

掲載論説

- ・「EUにおける新聞等の発行者に対する著作隣接権の付与の動向について」 井上淳

掲載寄稿論文

- ・「データ主導経済に向けた日本の現状ー平成29年版情報通信白書からー」 納富史仁、高田義久

情報通信学会誌第35巻第4号 通算第125号（平成30年3月号）

特集1 2017年度秋季（第37回）情報通信学会大会／国際コミュニケーション・フォーラム

特集2 平成29年度関西大会ーモバイル通信に関する国際シンポジウムー

掲載論文

- ・「法律上の通信の秘密の「間隙」とその立法論的解決策－電気通信事業法制を手がかりとして－」  
海野敦史

掲載論説

- ・「EUにおける「非」個人データへのアクセスに関する政策動向及び経済分析について」 井上淳

掲載寄稿論文

- ・「ロボット法と学際法学：〈物語〉が伝達する不都合なメッセージ」 平野晋

平成28年度（第18回）情報通信学会論文賞

佳作 2論文

「フリーミアムにおける支払金額と長期売上高の関係ーモバイルゲーム産業の実証分析ー」

山口真一、坂口洋英、彌永浩太郎、田中辰雄

受賞理由：モバイルゲームのビジネス・モデルの有効性をフリーミアムにおける支払金額と長期売上高の関係から明らかにし、また、モバイルゲームが喚起する様々な社会的問題（浪費性、耽溺性など）への解決策を示唆するなど、佳作に該当する論文と評価した。（第34巻3号掲載 平成28年12月発行）

「パーソナライズド・サービスに対する消費者選好に関する研究プライバシー懸念の多様性に着目した実証分析」

高崎晴夫

受賞理由：ネット上で展開される多様なサービスはそれぞれの利用者に合わせて提供されるようになってきたが、利用者はパーソナライズド・サービスを受けるためにプライバシーを提供しなければならない。プライバシーを提供することをどう受容するかについて調査し、利用者の潜在的不安などについて新たな知見を得た点は、分析上の課題が残るが評価される。（第34巻3号掲載 平成28年12月発行）

## 評議員会及び理事会の開催

### <評議員会>

#### 第20回定時評議員会

日 時：2017年6月14日（水）17：00～17：40

場 所：一般社団法人電波産業会 第6会議室

出席者：（評議員）井上泰浩（スカイプ参加）、佐藤靖夫、菅谷実、高橋守和、松井房樹、  
山下東子（理事）三友仁志、川崎賢一、武内信博（監事）池川博士、篠原聡兵衛

議 案：

1. 平成28年度事業報告について
2. 平成28年度決算報告について
3. 任期満了に伴う一部評議員の選任
4. 任期満了に伴う理事の選任

報告事項：

1. 業務執行状況報告

### <理事会>

#### 第40回理事会

日 時：2017年5月26日（金）15：30～16：50

場 所：青山学院大学 アスタジオ B1 ホール

出席者：（理事）三友仁志、内山隆、中西浩（スカイプ参加）、実積寿也（スカイプ参加）、  
山田肇、武内信博、上原伸元、神野新、高崎晴夫、西岡洋子、林秀弥  
（監事）池川博士、篠原聡兵衛

議 案：

1. 平成28年度事業報告
2. 平成28年度決算報告
3. 平成29年度定時評議員会の招集
4. 選挙によらない次期理事候補者の推薦
5. 平成28年度（第18回）論文賞の決定
6. 情報通信学会誌の特集について
7. 英文モノグラフシリーズ編集準備委員会の立ち上げについて
8. 終身会員の承認
9. 入会承認と退会報告
10. 外部団体との連携について

報告事項：

1. 2017年度春季（第36回）情報通信学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラム
2. 2017年度秋季（第37回）情報通信学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラム
3. 学会誌の発行

#### 4. 情報通信ワークショップ

検討事項：

1. 平成 30 年度学会大会の開催校の決定

#### 第 4 1 回理事会

日 時：2017 年 6 月 22 日（木）10：00～10：35

場 所：一般社団法人電波産業会 第 6 会議室

出席者：(理事) 川崎賢一、岡田朋之、神野新、庄司昌彦、高崎晴夫、武内信博、中西浩、福富忠和、宮崎久美子、山田肇  
(監事) 池川博士、篠原聡兵衛

議 案：

1. 会長（代表理事）の選定について
2. 副会長・常務理事の選定について
3. 2018 年度春季学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラムの開催校について
4. 入会承認について

報告事項：

1. 業務執行状況報告

#### 第 4 2 回理事会

日 時：2017 年 7 月 11 日（火）18：00～19：00

場 所：一般社団法人電波産業会 第 6 会議室

出席者：(理事) 川崎賢一、岡田朋之（スカイプ参加）、神野新、河又貴洋（スカイプ参加）、木村幹夫、庄司昌彦、新保史生（スカイプ参加）、鈴木郁子、福富忠和、山田肇  
(監事) 池川博士

議 案：

1. 副会長・常務理事の選定について
2. 委員会委員の選任について
3. 資金運用執行責任者任命の承認について
4. 入会承認について

報告事項：

1. 業務執行状況報告

検討事項：

1. 個人研究発表について

#### 第 4 3 回理事会

日 時：2017 年 10 月 3 日（火）17：00～18：30

出席者：(理事) 川崎賢一、山田肇、武内信博、新保史生（スカイプ参加）、庄司昌彦（スカイプ参加）、林秀弥、河又貴洋（スカイプ参加）、木村幹夫、鈴木郁子、高崎晴夫、西岡洋子、宮崎久美子

(監事) 篠原聡兵衛

議 案：

1. 新規研究会の設置
2. 正会員表彰受賞者について
3. 入会承認及び退会報告
4. 入会承認について

検討事項：

1. 個人研究発表について

報告事項：

1. 委員会委員の紹介
2. 総務プロジェクトの設置
3. 業務執行状況の報告

検討事項

1. 発表料及び投稿料の徴収について
2. その他

#### 第44回みなし理事会

日 時：2017年12月18日（月）

出席者：(理事) 川崎賢一、山田肇、武内信博、中西浩、新保史生、庄司昌彦、林秀弥、  
岡田朋之、神野新、河又貴洋、木村幹夫、鈴木郁子、高崎晴夫、西岡洋子、  
福富忠和、宮崎久美子 (監事) 池川博士、篠原聡兵衛

議 案：

1. 英文ブックシリーズ編集委員会の設置について
2. 英文ブックシリーズ編集委員会委員及び委員長の選任

#### 第45回理事会

日 時：2018年1月17日（水）18：00～19：20

場 所：一般社団法人電波産業会 第4会議室

出席者：(理事) 川崎賢一、武内信博、新保史生、庄司昌彦、岡田朋之、神野新、鈴木郁子、  
高崎晴夫、西岡洋子 (監事) 池川博士、篠原聡兵衛

議 案：

1. 入会承認
2. 寄附の申込について

報告事項：

1. 業務執行状況の報告

検討事項：

1. 平成30年度（2018年度）事業計画と予算について
2. 投稿料及び発表料の徴収について

## 第46回理事会

日 時：2018年3月6日（火）10：30～12：15

場 所：一般社団法人電波産業会 第4会議室

出席者：（理事）川崎賢一、武内信博、林秀弥、神野新、河又貴洋（スカイプ参加）、木村幹夫、高崎晴夫、西岡洋子、福富忠和、宮崎久美子（監事）池川博士、篠原聡兵衛  
（役員以外）総務プロジェクト参与 江寄正邦

英文ブックシリーズ編集委員会委員長 三友仁志

議 案：

1. 平成30年度事業計画について
2. 平成30年度収支予算について
3. 学会大会参加費の値上げについて
4. 英文ブックシリーズ編集委員の追加選任について
5. 英文ブックシリーズ投稿料の徴収について
6. 新規研究会の設置
7. 事務局長の交代について
8. 職員の特別手当の支給について
9. 入会承認

報告事項：

1. 業務執行状況の報告
2. その他

## <常任理事会>

### 第17回常任理事会

日 時：2017年9月26日（火）17：00～18：30

場 所：一般社団法人電波産業会 第4会議室

出席者：川崎賢一、山田 肇、武内信博、新保史生（スカイプ参加）、庄司昌彦（スカイプ参加）、林 秀弥、岡田朋之（スカイプ参加）

検討事項：

1. 設立35周年記念事業について
2. 発表料及び投稿料の徴収について
3. 総務プロジェクトの設置と参与の任命

報告事項：

1. 秋季学会大会とフォーラムの進捗状況
2. 学会誌9月号発行について
3. 英文図書出版準備委員会について
4. 賛助会員の入会について

### 第18回常任理事会

日 時：2017年11月29日（火）17：30～19：00

場 所：情報通信学会事務局

出席者：川崎賢一、山田肇、武内信博、中西浩（スカイプ参加）、林秀弥、庄司昌彦、  
岡田朋之（スカイプ参加）

検討事項：

1. 英文図書出版事業について
2. 書面による理事会の開催について
3. 1月17日に開催予定の理事会議案について

報告事項：

1. 2017年度秋季（第37回）学会大会／国際コミュニケーション・フォーラム開催報告
2. 設立35周年記念国際コミュニケーション・フォーラムについて
3. 情報通信ワークショップの開催

### 第19回常任理事会

日 時：2017年2月27日（火）17：30～19：00

場 所：情報通信学会事務局

出席者：川崎賢一、武内信博、中西浩（スカイプ参加）、庄司昌彦、新保史生（スカイプ参加）、  
岡田朋之（スカイプ参加）

議 題：

1. 平成30年度事業計画書（案）について
2. 平成30年度収支予算書（案）について
3. 学会大会参加費の値上げについて
4. 英文ブックシリーズについて
5. 事務局体制の変更について

## 委員会等の開催

### <事業企画委員会>

#### 第 1 回事業企画委員会

日 時：2017 年 10 月 20 日（金）18：00～20：00

場 所：一般社団法人電波産業会会議室 第 4 会議室

出席者：新保史生、福富忠和、村上陽亮、一戸信哉、井上淳、上原伸元、加藤尚徳、梶浦敏則、齋藤長行、三本松憲生、鈴木郁子、成原慧、橋本誠志、米谷南海

議 案：

1. 事業企画委員会の仕事について
2. 「設立 35 周年記念 国際コミュニケーション・フォーラム」の企画
3. 2018 年度春季（第 38 回）国際コミュニケーション・フォーラム
4. 2017 年度・2018 年度 情報通信ワークショップ

### <研究企画委員会>

#### 第 1 回研究企画委員会

日 時：2017 年 4 月 10 日（月）16：00～17：30

場 所：情報通信学会事務局

出席者：実積寿也、青木淳一、庄司昌彦、田中絵麻

議 案：

1. 2017 年度春季（第 36 回）学会大会 個人研究発表について

#### 第 2 回研究企画委員会

日 時：2017 年 5 月 9 日（火）17：00～18：00

場 所：情報通信学会事務局

出席者：実積寿也、上原伸元、田中絵麻、西岡洋子

議 案：

1. 2017 年度春季（第 36 回）学会大会 個人研究発表について

#### 第 3 回研究企画委員会

日 時：2017 年 8 月 1 日（火）10：30～11：55

場 所：情報通信学会事務局

出席者：庄司昌彦、生貝直人、西岡洋子、宮崎久美子

議 案：

1. 研究企画委員会での活動内容の確認
2. 2017 年度秋季（第 37 回）学会大会個人研究発表およびポスターセッションについて

検討事項：

1. 研究会について

#### 第4回研究企画委員会

日 時：2017年9月12日（火）10：00～12：00

場 所：情報通信学会事務局

出席者：庄司昌彦、高口鉄平（スカイプ参加）、生貝直人、高崎晴夫、宮崎久美子

議 案：

1. 2017年度秋季（第37回）学会大会個人研究発表について
2. 新規研究会申込について

#### 第5回研究企画委員会

日 時：2018年1月10日（水）16：30～17：30

場 所：情報通信学会事務局

出席者：庄司昌彦、田中絵麻、生貝直人、高崎晴夫、西岡久美子、宮崎久美子

議 案：

1. 2018年度春季（第38回）学会大会個人研究発表およびポスターセッション募集要領について
2. 発表料・投稿料について
3. 2017年度研究会「活動報告書」および2018年度研究会「活動計画書」について
4. その他

#### <編集委員会>

##### 第1回編集委員会

日 時：2017年4月17日（月）

場 所：メーリングリストによる書面会議

議 案：

1. 投稿論文審査に対する異議申し立てについて

##### 第2回編集委員会

日 時：2017年5月12日（金）

場 所：メーリングリストによる書面会議

議 案：

1. 平成28年度情報通信学会論文賞審査について

##### 第3回編集委員会

日 時：2017年6月13日（火）

場 所：メーリングリストによる書面会議

議 案：

1. 投稿論文の担当委員の決定について

##### 第4回編集委員会

日 時：2017年9月15日（金）10：30～12：30

場 所：一般社団法人電波産業会 第3会議室

出席者：林秀弥、神野新、福田雅樹、青木淳一、北村智、木村幹夫、宍倉学（スカイプ参加）、高田義久

議 案：

1. 編集委員会での活動内容の確認
2. 投稿論文審査におけるスケジュール等
3. 12月号投稿論文・論説の担当委員及び査読者の選出について
4. 学会誌担当委員の決定について

## 第5回編集委員会

日 時：2017年12月8日（金）13：00～14：30

場 所：一般社団法人電波産業会 第6会議室

出席者：林秀弥、神野新、福田雅樹、青木淳一、河又貴洋（スカイプ参加）、北村智、木村幹夫、宍倉学（スカイプ参加）、高田義久、田尻信行、湧口清隆

議 案：

1. 投稿料の徴収について
2. 3月号投稿論文・論説の担当委員及び査読者の選出について
3. 3月号学会誌担当委員の確認について
4. その他

## 第6回編集委員会

日 時：2018年3月5日（月）16：00～17：30

場 所：一般社団法人電波産業会 第4会議室

出席者：林秀弥、神野新、福田雅樹、青木淳一、木村幹夫、高田義久、湧口清隆

議 案：

1. 6月号投稿論文・論説の担当委員及び査読者の選出について
2. 平成29年度情報通信学会論文賞募集について
3. 学会誌一号に対し同一筆者の投稿数制限に伴う投稿規定等の改訂について
4. 6月号学会誌担当委員の確認について

## <関西センター委員会>

### 第1回関西センター委員会

日 時：2017年9月11日（月）16：00～17：30

場 所：関西大学梅田キャンパス 606会議室

出席者：岡田朋之、小笠原盛浩、長谷川想、上田昌史、小野寺昭彦、梶原祐理子、北村順生、高橋康幸

議 案：

1. 関西センターの活動について
2. 平成29年度関西大会の開催報告

### 3. 今後の活動

#### 第2回関西センター委員会

日 時：2018年1月11日（木）17：30～19：00

場 所：関西大学梅田キャンパス 703会議室

出席者：岡田朋之、小笠原盛浩、長谷川想、上田昌史、小野寺昭彦、梶原祐理子、  
脇浜紀子

議 案：

1. 今年度開催の研究会について
2. 2018年度事業計画

#### <総務プロジェクト>

##### 第1回総務プロジェクト会合

日 時：2017年10月25日（水）15：00～16：30

場 所：情報通信学会事務局

出席者：江寄正邦、武内信博、酒井由紀子、福田直子

議 題：

1. 学会経費節減について
2. その他

##### 第2回総務プロジェクト会合

日 時：2017年12月11日（月）14：00～15：30

場 所：情報通信学会事務局

出席者：江寄正邦、武内信博、酒井由紀子、福田直子

議 題：

1. 新規賛助会員の勧誘について
2. その他

##### 第3回総務プロジェクト会合

日 時：2018年2月26日（月）14：00～15：30

場 所：情報通信学会事務局

出席者：江寄正邦、武内信博、酒井由紀子、福田直子

議 題：

1. 平成29年度見込決算書について
2. 会員推移について
3. その他

## 事業報告の附属明細書

### 1. 会員の増減

【平成29年度中の会員増減状況】

	正会員 (個人)	正会員(団体)		学生 会員	特別 会員	賛助会員		合計	
		団体数	口数			団体数	口数	個人	団体 (口数)
平成29年4月1日 現在報告会員数	678	1	3	0	66	39	127	744	40 (130口)
年度内 増減	入会	24	0	0	12	6	6	36	6
	退会	△34	0	0	0	0	0	△34	0
	変更	0	0	0	0	0	0	0	0
	増減計	△10	0	0	0	12	6	6	△2 6
平成30年3月31日 現在報告会員数	668	1	3	0	78	45	133	746	46 (130口)

### 2. 評議員・理事・監事

平成29年度は、平成29年度定時評議員会（平成29年6月14日）において任期満了に伴う理事及び一部評議員の選任が行われた。なお、監事に変更はない。

○平成29年度定時評議員会までの評議員、理事及び監事の名簿は以下のとおりである。

### 評 議 員

(任期：平成27年6月23日から平成31年定時評議員会の日まで)

		氏 名	所 属
1	評議員	井筒 郁夫 ***	一般財団法人マルチメディア振興センター専務理事
2	同	井上 泰浩	広島市立大学国際学部 教授
3	同	梶浦 敏範	株式会社日立製作所 上席研究員
4	同	木村 幹夫	一般社団法人 日本民間放送連盟 研究所長
5	同	佐藤 靖夫	日本電気株式会社 政策渉外部 担当部長
6	同	菅谷 実 *	慶應義塾大学 名誉教授・白鷗大学経済学部 客員教授
7	同	高橋 守和	住友生命保険相互会社 顧問
8	同	辻 正次	大阪大学 名誉教授・神戸国際大学経済学部 教授
9	同	松井 房樹 **	一般社団法人電波産業会 専務理事
10	同	山下 東子 *	大東文化大学 経済学部 教授

(敬称略)

\* 2名の任期は平成25年6月18日から平成29年定時評議員会の日まで

\*\* 1名の任期は平成25年8月1日から平成29年定時評議員会の日まで

\*\*\* 1名の任期は平成27年8月3日から平成31年定時評議員会の日まで

## 理 事

(任期 平成 27 年 6 月 23 日から平成 29 年 6 月定時評議員会の日まで)

		氏 名	所 属
1	会長	三友 仁志	早稲田大学 国際学術院大学院アジア太平洋研究科 教授
2	副会長	内山 隆	青山学院大学 総合文化政策学部 教授
3	同	川崎 賢一	駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授
4	同	中西 浩	マレーシア工科大学 教授
5	常務理事	福富 忠和	専修大学 ネットワーク情報学部 教授
6	同	実積 寿也	九州大学 大学院経済学研究院 教授
7	同	山田 肇	東洋大学名誉教授／特定非営利活動法人情報通信政策フォーラム 理事長
8	同	武内 信博	株式会社NTTコミュニケーションズ 常勤監査役
9	理 事	上原 伸元	東京国際大学 国際関係学部 准教授
10	同	神野 新	株式会社情報通信総合研究所 主席研究員
11	同	河又 貴洋	長崎県立大学 国際社会学部 准教授
12	同	鈴木 郁子	NHK放送文化研究所 所長
13	同	高崎 晴夫	株式会社KDDI 総合研究所 フューチャーデザイン1部門 主席研 究員
14	同	塚本 勝俊	大阪工業大学 情報科学部 教授
15	同	中野 幸紀	元 関西学院大学 総合政策学部 教授
16	同	西岡 洋子	駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授
17	同	林 秀弥	名古屋大学 大学院法学研究科 教授
18	同	宮崎 久美子	東京工業大学 環境・社会理工学院イノベーション科学系 教授

(敬称略)

## 監 事

(任期 平成 27 年 6 月 23 日から平成 31 年 6 月定時評議員会の日まで)

		氏 名	所 属
1	監 事	池川 博士	西日本電信電話株式会社 常勤監査役
2	同	篠原 聡兵衛	KDDI 株式会社 渉外・広報本部 渉外部マネージャー

(敬称略)

\*評議員・理事・監事の所属先はいずれも平成 29 年 5 月 1 日現在の役職を記載

○平成29年度定時評議員会以降の評議員、理事及び監事の名簿は以下のとおりである。

## 評 議 員

(任期：平成27年6月23日から平成31年定時評議員会の日まで)

		氏 名	所 属
1	評議員	井筒 郁夫 *	一般財団法人マルチメディア振興センター専務理事
2	同	井上 泰浩	広島市立大学国際学部 教授
3	同	内山 隆 **	青山学院大学総合文化政策学部 教授
4	同	梶浦 敏範	株式会社日立製作所 上席研究員
5	同	佐藤 靖夫	日本電気株式会社 政策渉外部 担当部長
6	同	菅谷 実 **	慶應義塾大学 名誉教授・白鷗大学経済学部 客員教授
7	同	高橋 守和	住友生命保険相互会社 顧問
8	同	辻 正次	大阪大学 名誉教授・神戸国際大学経済学部 教授
9	同	松井 房樹 **	一般社団法人電波産業会 専務理事
10	同	三友 仁志 **	早稲田大学国際学術院大学院アジア太平洋研究科 教授
11	同	山下 東子 **	大東文化大学 経済学部 教授

(敬称略)

\* 1名の任期は平成27年8月3日から平成31年定時評議員会の日まで

\*\* 5名の任期は平成29年6月14日から平成33年定時評議員会の日まで

## 理 事

(任期 平成29年6月14日から平成31年6月定時評議員会の日まで)

		氏 名	所 属
1	会長	川崎 賢一	駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授
2	副会長	山田 肇	東洋大学名誉教授／特定非営利活動法人情報通信政策フォーラム 理事長
3	同	武内 信博	株式会社NTTコミュニケーションズ 常勤監査役
4	同	中西 浩	マレーシア工科大学 教授
5	常務理事	新保 史生	慶應義塾大学 総合政策学部政策・メディア研究科 教授
6	同	庄司 昌彦	国際大学 グローバル・コミュニケーション・センター 准教授
7	同	林 秀弥	名古屋大学 大学院法学研究科 教授
8	同	岡田 朋之	関西大学 総合情報学部 教授

9	理事	神野 新	株式会社情報通信総合研究所 主席研究員
10	同	河又 貴洋	長崎県立大学 国際社会学部 准教授
11	同	木村 幹夫	一般社団法人日本民間放送連盟 研究所長
12	同	鈴木 郁子	NHK放送文化研究所 所長
13	同	高崎 晴夫	株式会社KDD I 総合研究所 フューチャーデザイン1部門 主席研究員
14	同	西岡 洋子	駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授
15	同	福富 忠和	専修大学 ネットワーク情報学部 教授
16	同	宮崎 久美子	東京工業大学 環境・社会理工学院 イノベーション科学系 教授

(敬称略)

## 監 事

(任期 平成 27 年 6 月 23 日から平成 31 年 6 月定時評議員会の日まで)

		氏 名	所 属
1	監 事	池川 博士	西日本電信電話株式会社 常勤監査役
2	同	篠原 聡兵衛	KDD I 株式会社 渉外・広報本部 渉外部マネージャー

(敬称略)